

人

二二二
受信一七五〇
譯始一八三〇

譯了一九一五
電〇五四九八
作概〇

至急

四四警備隊

P F 及 戰 闘 機 報 達 信 艦 所

作

機密第一二二四二三番電

20. 2. 13

完 參謀長

回補給ニ既ナル消息至急承知致度

病死率一月ヨリ以上ニ増悪シ十日間ニ陸軍一六〇名海軍七一名主食

一月二〇〇瓦以下トナスコト困難ニシテ三月初旬拵底ス加フルニ精

神上電紀上ノ事故激増シツツアリ。

通六二四六 呂二Bラ十四一八九九五 四通
波一飯田



二 二二 受信二二一九 譯了二二三三五 電〇五五九八 航作概本〇
 譯始二二五五
 九〇三空 總派遣隊
 九〇三空



九〇三空 總派遣隊
 阪警・海上護衛隊P・大警・父根P・横防戦P

機密第一二一五四六番電 二分ノ一二

マールシヤル方面敵基地航空部隊ハ從前ノ直行政撃ヲ強化スル事共ニ航空決戦ノ積極的企圖ヲ有スルモノノ如ク最近航空基地ニ對スル連續攻撃（館山基地七日偵察十日爆撃）ヲ開始セルニ鑑ミ警戒ヲ要ス更ニ近ク敵機動部隊ノ來襲ヲ豫期セラルル所各隊ハ飛行機其ノ他重要兵器機關及諸施設ノ分散化移行人員防護應急隊（化兵隊ヲ含ム）ノ鍊成並ニ不發及時限爆彈ノ處理其ノ他各種ノ防空對策ヲ急速整備強化スルト共ニ既設ノモノニ對シテモ細評檢討ヲ加ヘ以テ被害局限並ニ戦力ノ持續ニ努ムベシ。

通六三五五
 六三五五

呂一Bラ一八一B 横須賀

呂崎・石崎（金）

20. 2. 13

人

二一二 受信二〇二〇

電〇五九一九 作機〇

緊急

共符

秀

作

海上護衛總口

總長・聯合艦隊口・支那方面艦隊口・五航空艦隊口

機密第一二一六二四番電

陸軍部令作第三八四號

一 佐鎮護衛部隊指揮官ハ二月二十日頃ヨリ約二週間△日一作戰ニ策
應シ左ノ海域ニ於テ敵潛撃滅作戰ヲ實施スベシ

本作戦ヲ日三作戰ト呼稱ス北緯三二度線東經一三二度線北緯二七
度線及東經一二五度線ヲ以テ包ム海域

二 特別敵潛掃蕩部隊ヲ日三作戰ニ關シ佐鎮護衛部隊指揮官ノ指揮下

通通
一一六六一七
六六一八

天二日ケ六

(三石)

20. 2. 14

ニ入ル

三 吳鎮護衛部隊指揮官ハ佐伯海軍航空隊ノ電探磁探裝備機各約六機ヲ指宿基地ニ派遣シヨ三作戰ニ關シ佐鎮護衛部隊指揮官ノ指揮ヲ承ケシムベシ

四 佐鎮護衛部隊指揮官ハ第八〇一海軍航空隊司令ヲシテ特別敵潛掃蕩部隊佐伯海軍航空隊派遣兵力並ニ第九五一海軍航空隊指揮官派遣隊附屬磁探機約六機其ノ他適宜ノ兵力ヲ以テ本作戰ヲ實施セシムルモノトス。

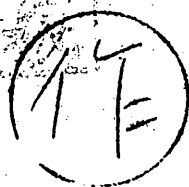
二二二 受信二一〇〇

電〇五九二〇 作概〇

緊急

共

符



海上護衛總部隊
總長・南號作戰部隊・支那方面艦隊口

機密第一二二六二七番電

G H B 電令作第三八三號

一 海護部隊指揮官ハ左ニ依リ敵潛擊滅作戰ヲ實施スベシ

本作戦ヲ A S 一 作戰ト呼稱ス

(イ) 作戰期間二月十八日頃ヨリ約二週間

(ロ) 作戰海域北緯三二度線東經一二五度線北緯二四度線及支那沿岸ヲ以テ包ム海域

(ハ) 使用兵力第一〇二戰隊及第九三一海軍航空隊ノ大部竝ニ其ノ他適宜

三 上根護衛部隊指揮官及高警護衛部隊指揮官ハ機宜右作戰ニ協力スベシ。

通一六二二一

天 B

(林部)

20. 2. 14

人

二 一 二 受信一七二九 譯了一七五〇 電〇五五〇七 作概〇
作戦特別緊急 横 防 戦

172

天 草・二一空基地
海上護衛總口・横 鎮・九〇三空

秘密第一二一六二七番電

- 一、第四九號海防艦ノ報告ノミニテハ戰果確實ト認メ難シ
- 二、天草ハ第四九號海防艦攻撃地點（北緯三〇度三二分 東經一四〇度）ニ急行索敵攻撃スベシ
- 三、四九海防艦ハ豫定ノ行動ヲトレ。

通六二八八 オ十四（B）横通 日高（鈴三）

20. 2. 13

二一七 受信一七二〇 譯了一八三〇 電〇八〇九七 作機

緊急 ヤツブ 航空 基地



五基地航空部 戰機機報通信處 三〇根

機密第一二一七〇番電

十六日戰機機報

一、一五一三〇グラマン五機大機一機八〇度ヨリ南斐トミール、
マツブ島銃爆撃後九〇度ニ去ル一二〇〇一四〇P一三八一機九
〇度ヨリ飛來各部偵察八〇度ニ去ル其ノ他爆音機取一回
ニ戰果被害ナシ

三、連日二一〇〇一三〇〇間ニ於テ東及南方ニ一、二回グラマンノ
爆音機取。
九二四二 呂ニBラ十四(八九九五KG)四機 坂本(イイタ)

20. 2. 18



二 一三 受信 一 二 一五四 一三四五
 緊急 開始 一 二 一五五 電 〇〇五六七七
 作 區



第一艦橋部隊。梅部隊。南號作戰部隊

機密第一二一七五五番電

三分ノ二二三

一 〇 二 電令第六二號 (A B 一 作戰下令時發動)

一 一 〇 二 日 及 九 三 一 航空隊ヲ以ツテ A B 一 部隊ヲ編成一 〇 二 日 司令官

ヲ同部隊指揮官トス 參加兵力同隊司令所定 (標準半兵力) 海上護

衛 A B 一 作戰ハ船團運航關聯船團航路ニ出現セル敵潛及主要航路ニ

蝟集セントスル敵潛ノ擊滅ヲ主眼トシ指揮官所定ニ依リ實施スベシ

三 通信左ノ外指揮官所定航空部隊 (基地航空機トモ) 使用電波 (晝夜

間共) 六三四七、五 〇 (カ夕ヒ三) 一 〇 〇 擔當ハ同電波ニ常時配員

通 六四九七 天 二 日 分 三 (四九一五 〇 〇) 在 二 放

六五〇一 九八三〇 〇 〇 在 二 放 右島 普原 (松井) 一

仙波

20. 2. 14

艦隊放棄系（一ツケ）ニテ放棄ス
 四一〇二日司令官ハ本作戦發動前所
 トヲ得。ノ令達ヲ發布諸準備ヲ進ムルヲ

（H）

46

二 一 二 受信二〇四九 譯了二一三〇 電〇五五二五 作動〇

緊急

先遣部隊

共

符

機密第一二一八〇三番電

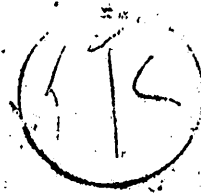
發 呂號第四六潜水艦長

一、殘存五型頸部附魚雷一本ハ手入中横舵ヲ毀損セルモノニシテ實驗
發射不適ノモノト認ム

二、本艦舞鶴歸投ノ途陸揚物件搭載ノ爲吳ニ寄港致度。

通六三二二 只一Bケ四(四七〇五)高井 山口(鈴三)

20. 2. 13



至 二 三 急

受信 〇〇二〇五
譯始 〇五二〇

譯了 〇六四五 電

〇〇〇〇
五五五五
七七六六
〇〇八八
四三九〇

作 概

七基地航空部隊戰國機報着信監所

硫黃島航空基地

機密第一二二八三八番電 五分ノ二三三四五

E二A B 戰國機報第一六八號 (二月十二日) 其ノ二

一〇六二一ヨリ一〇二五迄零戰二機延四ヲ以テ敵潛ニ對シ基地周邊哨戒實施異狀ナシ

三(イ)一〇三九・一八〇度一七〇糎一〇四八・一一〇度一四〇糎B I 三二
各一探知零戰三ヲ以テ邀撃一一一二B I 三九
〇第一飛行場船見

通六四四九
六四七一
六四七六

六四六七
六四七五

呂一Bケ四 (四〇四五K)

木更津航空基地

村松・東野・西村
奥山 (橋田)

(1)

20. 2. 13

山附近一一四九B一二九 一一秋葉山ヨリ二段岩玉名山東山麓一帯ニ

(イ) 被戦 果ナシ
被害

(1) 人員戦死二名

(2) 零戦一機地上被弾大破一機落下着陸中破(搭乗員無事) 彩筆二機
被弾中破(修理可能)

(3) 第一飛行場被弾四機二飛行場三(何レモ使用可能)

(4) 七・五纏野戦高角砲一門小破(使用不能見込) 同彈藥一二發破損
電波探信儀一小破(修理可能) 一二纏高角砲高射器一破損一三耗
機銃一破損(修理可能ノ見込) 二米高角測距儀一大破

(5) 測車附自動自轉車一大破酸素發生自動車一大破燃料自動車一中破
撒水車一二テ其ノ他小破車輛六臺自動車整備所及同部分品工場
本部爆碎幕舎大破五小破三

(二) 發射彈數(一門平均 保有彈數) 十二纏高角砲一二(一〇〇)七・

(2)

五輝野戰高角砲一二爆碎（三五二）

三(1) 一三五五・一五〇度一二五籽ニ編隊探知敵大型機編隊兼上ヨリ一

四二九・一八〇度三五籽一四四九西海岸及同海中ニ投彈南方ニ遁

走セリ

(ロ) 戦果被害ナシ

四 明日實動機數零戰彩舞各一機。

20. 2. 13

(3)

人

二二二 受信二〇〇五 譯了二一四五 電〇五六一二 災海
譯始二〇四〇

伊勢灣部隊▷

海上護衛總口・横鎮。大阪警備府・熊野灘部隊▷

(K)

機密第一二一八四三番電

三海上護衛隊▷

信電令作第一五九號

伊勢灣部隊指揮官ハ石鏡島ニ坐礁セル桐丸ノ救難ニ任スベシ。

通六三二〇 天二Bケ六 (B) 阪警 入澤 (浅岡)

20. 2. 13

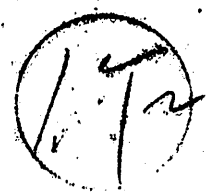
通六三三四
ロ一Bケ四(B)G
E口

月號第五〇潜水艦作戦歸途在菲轉進員ノ輸送ニ從事セシメテレ度

發 聯合艦隊



機密第一二一九三七番電



● 第六艦隊 大 海・第一航空艦隊 高聲・丹五〇

作戰緊急

● 共

符

二 一 二 受信 二一〇五五 譯了 二一二五 電〇五五二二
始 二一〇五五 譯了 二一二五 電〇五五二二
作 部 概 〇

20. 2. 13

作

局長	一課長	二課長	三課長	四課長	五課長	六課長	七課長	八課長	九課長	十課長
...

作

三航空艦隊
 大海參一部・聯合艦隊口

機密第一二二〇一二番電

三四三空司令

首隊機密第一二一一二七番電

要望ノ基地決定次第左ノ通航空隊各飛行隊ノ訓練基地ヲ定ル豫定ナリ

一 戰團三〇一・四〇七・七〇一 偵察四飛行隊松山基地

二 戰團四〇一・四〇二 飛行隊新竹基地但シ偵察第四飛行隊關係員ハ彩

委講習終了迄木更津ニ派遣。

呂一Bケ四 (B) 吳適

廣田 (齋ハ)

二四五 電〇五六三二
 松山航空基地

航作概本〇

20. 2. 13

人

緊急

二
一一二 受信二二三二七
一三 譯始〇〇〇五

了〇〇五〇 電〇五五八六 作概

● タバオ第一空基地

● 五基地航空部隊戦闘報着信鑑所

機密第一二二〇一七番電

UG三AB戦闘概報(一二日)

六〇八五〇一〇〇五P一三八 二機「タバオ」第二基地ニ來襲投彈

一五一五一一六三〇P一三八延三機偵察戦果被害ナシ

二「セブ島」要員輸送

四「セブ」
「カガヤン」間戦闘機ニヨリ終了

四「カガヤン」ヨリタバオ間本日ヨリ天山一零戦三ヲ以テ開始

通六四〇〇 呂二〇ラ十八(三七八二、五〇) 五PGBV

田村(河田)

20. 2. 13

二一三 受信一〇八五八 譯了一三〇一 電〇六三四五 參作 本概

緊 急

二 六 航 戰



クラーク防備部隊海

機密第一二二〇五一番電

K B E 戦闘概報第十五號 (二月十二日)

- 一、敵ハ複廓陣地前線豫定ノ一部ニ進入シ激烈ナル争奪戰展開中
- 二、敵ハ接敵ニ依リ陸路白兵戦壕ニ部隊ノ屍体情況ヨリ第一線ノ敵ハ士民軍ト判断セラル 蕪進シ會敵制壓
- 三、閑散ナリ。

通六五六八 呂一〇ラ十八 (八八八四 KC) G K F 放 長井 (上野)

20. 2. 15

人

二一三 受信一六二〇七 話了一八五三 電〇六〇四五 航作 概〇

至 急

カムラン航空基地



- 海上護衛總隊・第一護衛隊司令部・北號部隊△・九三六空
- 九〇一空三駐派遣隊・カツトライ水上基地・?

機密第一二二三〇五番電

戰闘概報 第二九號 (二月十二日)

北號部隊前路哨戒一三〇〇番偵一機カツトライ發進一四三〇ノ豫定
 位置ヨリ前路哨戒艦隊ヲ認メズ一四一五サンジャツクノ一二三度一八
 渾ニ於テB一四ノ北上スルヲ認ム部隊ノ敵機ニ依ル被發見ノ惧レナシ
 トセズ一七三五カムラン着。

暹六六八八 呂一Bケ四(一七五九〇K)一〇通 廣田(福田)

2177

20. 2. 14

手

二 一三

受信開始 〇〇四一〇八

譯了 〇五二五 電 〇五七一 二 作 概

父根 戰闘概報着信艦所

父 根



機密第一二二三一六番電

戰闘概報二月十二日其ノ二

一 敵大型機計六機一九二五ヨリ二二〇二至ル間來航四二二百ノ各照

機ニテ侵入一九二六、一九五六陸上ニ磁氣機雷各一個及二一一八南

島北方海面ニ小型爆彈約十個投下

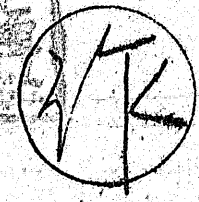
二 戰果被害ナシ

通六四二二二 呂一Bヶ四(五一〇〇RO)父通 淺川(渡邊)

20. 2. 13

人

二 一 三
 受信 〇〇七五〇 譯了 〇九〇〇 電 〇五七四〇
 譯始 〇八一一六
 航作概本〇



龍華航空基地、九五航空隊

團島航空基地

一護衛艦隊担任門司高雄間船團行動通報着信艦所、佐鎮、郡山航空基地、支那方面艦隊口、鎮警、大青島海面防備部隊、舟山航空基地、旅根

機密第一二二三三三番電

機密第一二一七〇五番電關聯

水偵三機（内電探二機）夜間索敵掃蕩中二〇〇〇北緯三六度五八分東經一二三度五五分ニ浮上潜水艦ヲ探知掃蕩中敵潜ノ銃撃ヲ受ケ之ニ對シ銃爆撃セルモ暗黒ニシテ效果不明 明朝〇六〇〇ヨリ 全力索敵攻撃ヲ實施ス。

通六五四四 呂一Bラ一八（五二〇〇KG）佐通 月芳（小澤）

20. 2. 13

ト

二一三

受信〇〇一三五
譯始〇〇一五五

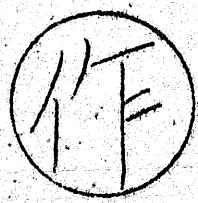
譯了〇二一六

電〇五七五二

作概〇

作戰緊急

⑨ 九三六航空隊



⑧ カムラン、キノン各空基地。九〇一空(三亞空基地)。ツウラン基地
⑦ 海護總口。四航戦。カヅトライ水上基地。一護衛艦隊。九〇一空

機密第一二二三五一番電

第四航空戦隊機密第一二二〇〇番電關聯

明十三日黎明時第四航空戦隊ニ對スル對潛警戒ヲ特ニ嚴ニスル。

通六四六六

呂一ヲラ十八ハ六二三五K(一〇通

三浦(上野)

20. 2. 13

2181

4

二一三 受信一一〇三八 譯始一一五三 譯了一四一〇 電〇五八七五 潛作機〇
緊 魚 符

信

南西方面部隊。潜水部隊（先遣部隊）
一航空艦隊。高雄警備府
呂一一二・呂一一三・七潛戰

機密第一三〇一三五番電

發 呂號第四六潜水艦長

十日〇一〇〇カミギン島ノ一五哩ニ於テ敵味方不明（味方算大ナリ）小
艇哨戒艇二隻ノ爆雷攻撃ヲ受ク同方面味方部隊ニ對シ行動通報徹底ヲ要
スルモノト認ム

通六六〇三 呂一〇ヶ四（一三五二〇KG）高通 平島（松山）

20. 2. 14

454

伊勢丹

通六五六五 於一四（一七五九〇KG）十通

清水（河田）



作戰特別緊急

二一三 受信〇〇八八四〇〇

詳了〇八五三

電〇五七四五 作概〇



四

航

戰

ア



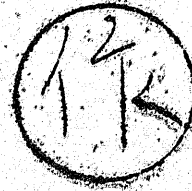
南號作戰部隊・九〇一空・九〇三六空

機密第一三〇七五〇番電

〇七〇〇我大型機、觸接ヲ受ケツツアリ。

20. 2. 13

二一三 受信一〇三四 譯丁一〇三五 電〇五八〇六 作機〇
作戰緊急



海上護衛總隊・聯合艦隊各口
一護衛艦隊口・高警・沖繩根・四航戰

機密第一三〇九三五番電

發 G F 參謀長

通信課報ニ依レバ敵機動部隊ハ十一日午後ウルシ島出港南西諸島又ハ九州方面ニ向ヒツツアルモノノ如シ本行動ハ新攻略作戰（南西諸島方面ノ算アリ）ノ前提ナル算ナリ。

通六六〇五

呂一Bヲ十八（B）聯合艦隊口

東譽（渡瀬）

20, 2, 14

7812

45f

↑

二 一 三
 受信 一〇五五
 譯始 一〇五四
 譯了 一一一二
 電 〇五八〇三
 作機 〇

停

聯合艦隊中・南號作戰部隊

機密第一三〇九〇四番電

發 第四航空戰隊司令官

敵機ニ觸接セラレツツアル情況ニ鑑ミ本日以後有力ナル敵飛行機
 及水上部隊ト交戦ヲ豫期シツツ豫定通り強行突破セントス。

通六六〇二
 呂一〇ケ三
 一七五九〇〇
 十通 吉田 (緋川)

20. 2. 13

IEF

二二二 受信二七二〇〇 譯了二二二〇 電〇六〇五一 作概〇

緊急

作

大臣、海護總長、第一護衛艦隊

南號作戰部隊、梅部隊

機密第一三二〇〇六番電

當艦隊司令部門司移轉ニ伴ヒ當分ノ商高雄密令所ヲ置キ參謀長以下幕僚ノ一部ヲ配シ主トシテ左ノ事項ヲ掌理セシム

一、臺灣及南支那海方面ニ在ル當艦隊指揮下船團及護衛艦艇ニ對シ緊急處理ヲ要ス事項ニ關スル當面ノ指示

二、航空作戰ノ實施ニ關スル事項

三、情報ノ速報

通六七六九

天二日夕六

日

吳進

入洋（細川）

20. 2. 14

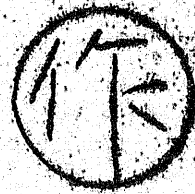
2186

四 氣象警報
五 臺灣方面海陸軍關係各部ノ折衝。

作戰特別緊急

二一三 受信一二三一
譯始一二三五 譯了二三〇五 電〇五八六三

航作概本〇



● 第一機動基地航空部隊

● 大海參一部・聯合艦隊口・一、三各航空艦隊口。吳鎮・佐鎮

機密第一三一〇二八番電

第一機動基地航空部隊軍令作第一號

「ウルシ」在泊中敵機動部隊ハ十一日吳鎮南西諸島及南九州方面

ニ來襲ノ算アリ

ニ第一機動基地航空部隊ハ左ニ依リ作戰スベシ

(イ) 第二警戒配備

(ロ) 〇區哨戒 (十四日夜間ヨリ開始)

(ハ) 第二配備第一法基地配備 (戰團機隊ヲ除ク)

(ニ) 第七〇一航空隊及第二〇三航空隊ハ既令ノ特攻ヲ「國分」ニ於

テ編成待機ス。

通六六三八

呂一ヨケ四ハ

B ヲロロ

武藤(小林)

20. 2. 14

人

緊魚



二一三

受信開始一二三五

譯了二二五

電〇五八六八ノ作

概

● 二二特根戰艦概報着信艦所

● 二二特根

▷

一三一〇一〇

二五戰艦 二月十三日

○ 五四五ヨリ〇七〇〇迄敵大型機一機バリクバパン北方ヨリ東方三

○ 湊海上ヲ經テ「アルカク」方面ニ反轉後バリクバパン東方海上ヲ

旋回東方ニ遁走セリ 戦果被害ナシ

三 敵機ハバリクバパン附近ノ氣象ヲ偵察セルモノノ如シ。

通六六三七

協作(一八三六七、五〇)廿一通

岡田(松山)

20. 2. 14

人

二一三 發信一二四八 譯了一二一四 電〇五八一二 作概〇

作戰特別緊急

作

七基地航空部隊作戰命令着信 陸軍
大分航空基地

機密第一三一〇五二番電

發 三A P 參謀長

十三日頃敵機動部隊ハP Uヲ令擲OBハP S Aヲ出動ノ氣配アリ
各隊ハ實動機數ノ向上ニ努メ邀撃配備ニ遺憾ナキヲ期セラレ度。

通六六三五 於一四(七五〇五K) 木更津航空基地

加藤 (林部)

二一三 受信二〇三二 譯了二一四〇 電〇六〇二〇 鑿基
開始二一〇〇

横 施設部

第九〇三空八丈派遣隊

横 鎮・第三航空濫隊・各施設部

機密第一三一―一二三番電

發 第二〇八設營隊長

機密横鎮命令第五一號ハ左ノ通り實施中

一、小型機有蓋掩體五箇所

二、櫻花格納トンネルニ既設トンネル改良 NO.1 X NO.1 米、長サ五〇

米三箇所

右完成豫定三月末日、小型機格納トンネル地質及位置決定困難ナル
ヲ指示相成度、其ノ他緊急施設アラバ至急通知ヲ乞フ。

通六八五五 呂一B・ラーハ() 横通 橋光(太出)

20. 2. 14

二二三 受信 一八〇〇 譯了 一七二五 電〇六〇五三 航作 本〇

要急

九〇三空總派遣隊

九〇三空



海上護衛總部隊

第三海上護衛隊 大湊警備府 父島根 二十二戰隊 大阪警備府 横防戰

機密第一三二二〇六番電

發參謀

最近敵潜水艦ハ大型機ト協同シ本土南方哨戒線ノ攪亂竝ニ船團攻撃ヲ積極的ニ企圖シアリ

尙佛印方面ニ於テハ敵機ハ船團周圍ニ待機味方對潛直衛機ノ擊墜ヲ企圖シアリ 此ノ際直衛機ヲシテ見張警戒ヲ嚴ナラシメ射撃兵裝ヲ整備スルト共ニ射撃術力ノ向上ニ努メ苟モ警戒準備不良ノ爲不覺ヲトルガ如キコトナキ様注意ヒシメラレ度

通六七五三

呂一〇ラ十八

B 横須賀 中川 小川

20. 2. 14

作

至

二

一三

受信一七二〇
譯始二〇一五

譯了二一〇五

電〇六〇四六

航作概本〇

急

九三一航空隊（佐伯航空基地）

新竹航空基地

海

海上護衛總各口。一護衛艦隊口。九〇一空

機密第一三一三六香電

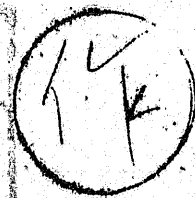
發 第九三一航空隊司令

電令作第一一號増援部隊指揮官ハ準備出來次第艦攻二機ヲ新竹基地ニ
増援シ當四〇九派遣隊指揮官ノ指揮下ニ入ラシムベシ要スレバ次回
リ輸送機ヲシテ途上之ガ誘導ニ任ビシムベシ。

通六七七一 呂一Bケ四八一三五二〇（高雄） 内山（金森）

20. 2. 14

二
一三 受信二〇〇〇
一四 譯始二〇〇〇
譯了〇二一〇 電〇六一六八 作 概



東京灣西航路部隊
東京通信隊

機密第一三一二五〇番電

通報 大海 GEB長官旗艦 東京灣北航路部隊指揮官

横領電令作第三六號

西航路部隊指揮官ハ解以網利用假裝捕獲網ヲナルベク速ニ三海護機密第一三一號別圖第一番線及第三番線ノ位置ニ設置スベシ。

通六八三八 スB(B

局橋		
通		
漆生(塩田)		

20. 2. 14

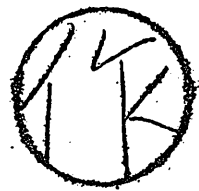
人

二一三

受信二一八五四
譯始二一三二

譯了二二一〇 電〇六〇一三

作航艦
概本本〇



支那方面艦隊口

揚子江根

軍令部總長。聯合艦隊口。上海根。第二遣支艦隊口。海南警口

機密第一三一三〇五番電

受報者 上海在勤武官 南京在勤武官 漢口在勤武官

揚子江方面特別根據地隊戰鬥概報第十二號

一四四二P一五一 四機南京ニ來襲陸軍側之ト交戦撃退セリ 戰

果撃墜一機 被害ナシ

六徐家灣附近敵機陸上ニ投下セシ機雷ハ其ノ後調査ノ結果没衣誘導
型磁機雷ナルコト判明セリ。

通六八二六 呂一B(四〇四五KC) 上海 高瀬(雨谷)

20. 2. 14

人

二一三

受信一九二〇〇
開始二〇〇〇

譯了二〇三五

電〇六〇〇二

航作概本〇

作戰緊急

第六五二空(サイゴン航空基地)



南號作戰部隊、第一護衛艦隊、第九三六空、
海南警備府・第九〇一空(三亞航空基地)
第九〇一空(東港航空基地)・第九〇一空(大邱航空基地)

機密第一三一三〇九番電

20. 2. 14

發 特別掃蕩隊長 仲ミチ大尉

特別掃蕩隊(陸攻五機)西貢進出完了、
日ヨリ困難ヲ排シ護衛作戰ノ完璧ヲ期ス 恥ク行動ス
燃料補給ニ關シ各部、各基地ノ御援助ヲ得度。

通六八三一 天日(六二三五)一〇通 紬野(太 出)

緊急

二一三 受信 一四三二 譯了 一七一五 電〇五九六九 參作 本概



無線艦所用共通符號

東京通信隊・聯合艦隊口・第三航空艦隊口・橫通信隊

小笠原部隊・硫黃島航空基地

機密第一三一三一〇番電

發 南島高部隊指揮官

着信者 橫須賀鎮守府 軍令部總長 參謀次長

受報者 厚木航空基地 第二十二戰隊司令官 第七潛水戰隊司令官

戰闘概報（二月十三日）

一〇四五 二二〇度高角八度四五斤南方B一二九 一機發見高度約

五五〇〇米ニテ來襲投彈ヒズ

二發射彈數（發彈數） 十二機七高角他七〇〇（一一四二）

三戰果 被害ナシ

通六六九五 呂一Bケ四（B）橫通 笹瀬（小川）

20. 2. 14

26T2

368
390

二一三
緊急

受信開始一五四三〇

譯了一五四四 電〇五八八四

△作部

○ 無線艦所用共通符號

作

○ 第六艦隊司令部。第一特別基地隊△。吳 鎮

○ 大本營海軍部

機密第一三一

聯合艦隊電令作第五一一號

先遣部隊指揮官ハ伊號第三六八潜水艦及伊號第三七〇潜水艦ノ急速
出撃準備（回天搭載）ヲ完成スベシ

局長	三三
一課長	二三
二課長	三三
A	福
B	福
E	福
	福
	福
	福

通六七〇四 呂一Bケ四 R (GF) 望月(木下)

20. 2. 14

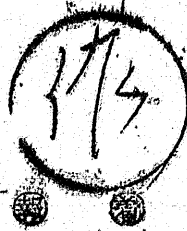
二一三
至無

受信二〇七〇七
譯始二〇七〇七

譯了二一三〇

電〇五九九五
電〇六〇四一

航作
概本〇



九三一空 (新竹航空基地)

九三一空 (佐伯航空基地)

海上護備總口・一護備艦隊口・一三戰隊△・上海糧△
舟山島航空基地

機密第一三一三三三三番電

二分ノ二

宛 九三一空司令

一、AS二作戦準備ハ左ニ依リ實施致度

(イ)飛行機隊第一次艦攻六機十四日佐伯發舟山島着

(ロ)飛行機隊第二次艦攻六機十七日佐伯發舟山島着

(ハ)基地物件ハ大部並ニ作業員七名ハ鹿島(十二日)門司發十八日舟山

島着)便ニテ出發ス

(ニ)爾餘ハ飛行機便(目下各部交渉中)ノ豫定

通六六七五〇
通六六七七〇

呂一塔ヶ四

B

吳

片山、菊崎(酒卷)

20. 2. 14

- 一 殘餘ノ飛行機ハ整備中ニシテ補充ニ充當ノ豫定
- 二 G E 日輸送機ハ空輸中ナルモ遠距離飛行實施迄ニハ尙若干時日ヲ要スルコトヲ認ム
- 三 電線其ノ他新竹補給物件ハ極力準備中
- 四 艦攻三機美幌ニ完備搭乗員待機中ナルモ天候不良ノ爲メ未ダ出發セズ